

8 学校質問紙の結果概要

（質問紙については、本県の特徴を表しているものを、いくつかの視点から整理して示してある。
また、本県、全国の数値は、基本的に肯定的な回答（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」）をした学校の割合（%）を示してある。

(1) 「学校質問紙」概要 【小学校】

ア 本県が全国平均を上回る主な質問項目

	内 容	鹿児島	全 国	差	自校
1	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた	71.0	45.7	25.3	
2	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った	89.0	66.5	22.5	
3	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った	78.6	64.5	14.1	
4	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った	68.0	56.5	11.5	
5	調査対象学年の児童に対して、半分以上の算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った	33.4	25.7	7.7	
6	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした	90.6	83.3	7.3	
7	調査対象学年の児童に対して、半分以上の算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした	42.4	35.2	7.2	
8	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた（国語／算数共通）	91.2	84.4	6.8	
9	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った	69.8	63.1	6.7	
10	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った	75.2	69.5	5.7	
11	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	97.0	92.3	4.7	
12	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った	98.0	94.4	3.6	
13	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした	96.2	93.0	3.2	
14	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った	97.0	94.3	2.7	
15	平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有した	66.0	63.3	2.7	
16	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	92.0	89.4	2.6	

イ 本県が全国平均を下回る主な質問項目

	内 容	鹿児島	全 国	差	自校
17	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行った	28.6	49.0	-20.4	
18	職場見学や職場体験活動を行っている	31.8	47.5	-15.7	
19	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行った	38.2	49.2	-11.0	
20	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している	83.2	87.2	-4.0	
21	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている	87.0	90.6	-3.6	

ウ 本県が全国平均と同程度の質問項目

	内 容	鹿児島	全 国	差	自校
22	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている	95.2	96.9	-1.7	
23	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っている	95.8	97.5	-1.7	
24	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行った	98.4	99.0	-0.6	
25	学校として業務改善に取り組んでいる	96.8	97.4	-0.6	
26	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている	99.2	99.3	-0.1	
27	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行った	97.0	96.7	0.3	
28	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした（国語／算数共通）	93.8	93.3	0.5	
29	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底した	98.2	97.7	0.5	
30	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている	97.2	96.7	0.5	
31	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した	98.2	97.6	0.6	
32	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を行った	74.2	72.8	1.4	
33	調査対象学年の児童に対して、前年度に、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた	91.2	89.7	1.5	
34	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った（国語／算数共通）	98.8	97.2	1.6	
35	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った（国語／算数共通）	93.2	91.6	1.6	

(2) 「学校質問紙」概要 【中学校】

ア 本県が全国平均を上回る主な質問項目

内 容		鹿児島	全 国	差	自校
1	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、長期休業期間中に自由研究などの家庭学習の課題を与えた	98.6	81.1	17.5	
2	調査対象学年の生徒に対して、半分以上の数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした	40.8	28.6	12.2	
3	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った	33.9	22.9	11.0	
4	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った	77.4	69.2	8.2	
5	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	95.4	88.5	6.9	
6	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った	82.8	76.5	6.3	
7	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った（国語／数学共通）	93.3	87.1	6.2	
8	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った	72.4	66.5	5.9	
9	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、補充的な学習の指導を行った	90.9	85.2	5.7	
10	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った	96.8	91.4	5.4	
11	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った	96.8	91.8	5.0	
12	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った（国語／数学共通）	95.9	91.9	4.0	
13	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした（国語／数学共通）	93.7	90.2	3.5	
14	平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有した	66.9	64.0	2.9	
15	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行った	99.1	96.2	2.9	
16	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を行った	63.3	60.7	2.6	
17	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた（国語／数学共通）	76.1	73.7	2.4	
18	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている	93.2	90.9	2.3	

イ 本県が全国平均を下回る主な質問項目

内 容		鹿児島	全 国	差	自校
19	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行った	22.1	33.0	-10.9	
20	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行った	19.0	25.9	-6.9	
21	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、発展的な学習の指導を行った	63.8	69.0	-5.2	
22	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている	90.0	93.9	-3.9	
23	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている	82.3	85.2	-2.9	
24	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行った	77.4	79.8	-2.4	
25	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に、生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫していた	95.4	97.7	-2.3	

ウ 本県が全国平均と同程度の質問項目

内 容		鹿児島	全 国	差	自校
26	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている	100.0	98.1	1.9	
27	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した	97.7	96.1	1.6	
28	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底した	99.6	98.3	1.3	
29	職場見学や職場体験活動を行っている	100.0	98.9	1.1	
30	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした	93.6	92.6	1.0	
31	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行った	98.7	97.9	0.8	
32	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた	84.2	83.6	0.6	
33	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした	98.2	98.6	-0.4	
34	学校として業務改善に取り組んでいる	96.4	96.8	-0.4	
35	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	94.1	94.6	-0.5	